



このはな

発行所 松山市青少年育成
支援委員協議会
発行人 会長 石丸 欣 司

会長新任挨拶

松山市青少年育成支援委員協議会 会長

石丸 欣 司



猛暑の日々が続く中、皆様方におかれましては日頃から協議会の活動にご理解・ご協力を頂きありがとうございます。

私は、5月27日の総会で会長に任命されましたが、まだまだ不安でいっぱいです。しかしながら、副会長や事務局をはじめ、役員の皆様にご協力を頂き、何と

かこの数か月を過ごすことができております。

7月2日の育成支援委員懇親会では、ご多忙の中、ご来賓の皆様や学校関係・支援委員の多くの皆様のご出席を頂き、情報交換や親睦に有意義な時間が過ごせたように感じています。

いよいよ子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まりました。子どもたちの活動が活発になり、外出の機会が増えてきます。私たちの活動の根幹である巡回活動を活かし、出会った子どもたちにも「愛のひと声」をかけ、犯罪の被害者にも被害者にもさせないよう支援委員の皆様には、ご協力

をお願いいたします。

近年の社会環境の変化に伴い子どもたちを取り巻く課題は多様化しています。非行やトラブルも多様化し、状況に応じて柔軟に対応することが必要になってきています。

関係機関や地域の皆様とつながりを密にし、地域全体で子どもたちを見守る環境づくりに努めたいと思っております。大人たちが、良き模範となる環境づくりをし、子どもたちの健全育成に結びつくような活動をしていきましょう。

将来に希望の持てる子どもたちのために青少年支援委員の皆様のご協力は欠かせません。私も子どもたちの健全な成長のために邁進いたしますので、関係機関・青少年育成支援委員の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

センター所長 挨拶

教育支援センター事務所長

越智 文 子



松山市青少年育成支援委員の皆様におかれましては、日頃から青少年の健全育成、並びに非行防止活動にご尽力いただいておりますこと、誠にありがとうございます。

私は、本年4月1日から松山市教育支援センター事務所長として着任しました。松山市青少年育成支援委員の一員として、子どもたちの健全育成のため、皆様とともに

に精一杯尽力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

現代社会において、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化し、SNSやスマートフォン等の普及により、利便性が高まる一方で、ネット上の誹謗中傷やいじめに加え、有害サイトを通じて巻き込まれる犯罪など、犯罪や非行が複雑化・多様化しています。

また、少子化、核家族化が進行し地域とのつながりが薄れ、子どもたちが孤独や不安を抱え込みやすくなっています。

そのような中、青少年育成支援委員の皆様におかれましては、日々の巡回や見

守りなどの献身的な活動を通じて、子どもたちに社会のルールやマナーについて伝えることで、規範意識の醸成や倫理観の向上だけでなく、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに繋がっております。

大変心強く感じています。

松山市教育委員会といたしまして、次代を担う子どもたちの健全な成長のため、社会全体で子どもたちを育てることができるよう、地域の方々や学校などの関係機関の皆様と力をあわせて取り組んでまいります。

終わりになりますが、松山市青少年育成支援委員協議会の今後ますますのご発展をお祈り申し上げますとともに、育成支援委員の皆様には、引き続き青少年の健全育成の推進にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

第1回研修会

城西中学校区 戸 田 さつき

5月27日、青少年センターに於いて、支援委員委嘱状交付式後、第1回松山市青少年育成支援委員研修会が開催されました。

「青少年育成支援委員の活動について」教育支援センター事務所、健全育成・問題行動班主査の佐伯賀子様より、ご講演を頂きました。

始めに、支援委員の職務と活動内容を話されました。次に、不良行為の概況説明があり、少年の特性・傾向として、人間関係は希薄で居場所がない少年たちは「ここに居れば誰かがいる」という場所に集まり、その時限りの友達を作り、本当の住んでいるかも知れないまま

ま遊んでいることを話されました。

次に補導活動について、目的は少年の非行や被害を防止する事。善意と愛情が基本で、時機を失することなく自信を持って接すること。法律などを知っておく事も大事である。自転車に関する道交法も昨年11月より施行された。補導時のポイントとして特に声掛け後の別れる時が一番大切で、感情が対立したまま別れないようにする事など、具体的に説明を頂きました。

最後に、地域の子どもたちのために、大人たちが温かい目で見守り、声掛けにくくられました。

ブロック別研修

久米中学校区 佐 田 美由紀

令和7年6月28日(土) ウェルピア伊予にて、市町村少年補導委員ブロック別(中予地区)研修伊予市大会が、中予各地域からおおよそ百六十名の参加のもと盛大に開催されました。

「金融リテラシーの重要性」消費者トラブルをとおして」J-FLEC(金融経済教育推進機構)という名称は初めて聞きましたが、消費者トラブルから身を守るための知識を得る事は、社会で生きていく上でとても重要であると感じました。

質疑応答のなかで講演内容について疑問を持たれた方もいらっしゃると思いますが、私は現在の中高生がどのような教育を受けているのか、知る事ができてよかったと思います。

ゲームの課金や後払いサービス、マルチ商法等、私達の生活にも参考になる事例から、今の子供達の置かれている環境について改めて考えさせられる講演でした。

J-FLEC(金融経済教育推進機構)という名称は初めて聞きましたが、消費者トラブルから身を守るための知識を得る事は、社会で生きていく上でとても重要であると感じました。

質疑応答のなかで講演内容について疑問を持たれた方もいらっしゃると思いますが、私は現在の中高生がどのような教育を受けているのか、知る事ができてよかったと思います。

懇親会

北条南中学校区 大森 義継

令和7年度松山市青少年育成支援委員協議会懇親会が、7月2日にANAクラウンプラザホテル松山にて開催されました。

石丸欣司会長の開会挨拶の後、来賓を代表して松山市教育委員会前田昌一教育長のメッセージが披露され、松山市の青少年の見守りに尽力している育成支援委員への労いを頂き、我々育成支援委員の活動が少しでも青少年の成長や地域のためになっていると感じられました。



この後、白石学松山市小中学校PTA連合会長の乾杯で懇親会が始まり、学校関係者の皆様と育成支援委員が、和やかな雰囲気情報交換を行い、親睦を深めることができました。

コロナ禍も終わり、やはり青少年の育成には見守る大人の絆も必要であると再確認された会になりました。

話は尽きず時間はすぐに経ってしまいましたが、この街でのメロディの中、二百名以上の大きな拍手で開きとなりました。

